

【解答例集】身近な大人にインタビューして、仕事のリアルを聞いてみよう

CCN寺子屋 ワークシート解答例集 | parent-interview

⚠ **保護者・先生向け**：このシートは参考例です。生徒自身が考えることが大切です。答えを見せるのではなく、まずお子さん・生徒さん自身に取り組ませてからご活用ください。

1 インタビュー相手を決めよう

モデル回答例

インタビュー相手：父・佐藤太郎

ここがポイント

保護者・祖父母・近所の大人など、身近な人でOK。「どんな仕事か知りたい」と思える人を選ぶ。

2 インタビューの準備とマナー

モデル回答例

事前に質問リストを準備する。「〇日に話を聞かせてもらえますか？」と事前をお願いする。メモを取る準備をする。

ここがポイント

突然インタビューするのはNG。事前をお願いして、相手が話しやすい時間を作ることが大切。

3 インタビュー15問への回答

モデル回答例

- Q1：看護師（小児科）
Q2：15年
Q3：体温測定・投薬・カルテ記入・患者さんの観察
Q4：子どもが苦しんでいる時
Q5：回復して「ありがとう」と言われた時
Q6：子どもが好きで、助けたかったから
Q7：勉強より部活（バスケ）が中心だった
Q8：新人の時、患者さんの薬を間違えそうになった
Q9：カルテの入力が楽になった
Q10：記録はAIに変わる。でも心のケアは変わらない
Q11：常に患者さんの気持ちを中心に考えること
Q12：もっと早く資格を取ればよかった
Q13：苦手でも続けると必ずできる
Q14：生物・英語
Q15：どんな仕事も「人のために何かする」気持ちが大事

ここがポイント

回答はできるだけ相手の言葉をそのまま書き留めよう。要約しすぎると「リアルな声」が消えてしまう。

4 プロフィールカードを作ろう

モデル回答例

名前：父・佐藤太郎
仕事：看護師（小児科）
働いた年数：15年
主な作業：体温測定・薬の準備・子どもの様子観察・カルテ記入
仕事の信念：子どもと家族の不安を取り除くこと

ここがポイント

「信念」の欄はインタビューの中で心に残った言葉を書こう。その人らしさが出る部分。

5 AIとの関係を整理しよう

モデル回答例

AIに変わりそうな作業：カルテの自動入力／薬の在庫管理

人間が必要な作業：子どもをはげます／家族の不安に寄り添う

ここがポイント

インタビューした人自身がAIについてどう考えているかを書くのがポイント。「大人のリアルな声」を大切に記録しよう。